

業務名：町道網代学校線外消雪装置改修工事測量設計業務

特記仕様書

第1(目的・主旨)

本業務は、町道網代学校線 及び 町道竹ヶ下線において、消雪装置改修にかかる測量及び設計を行うものである。

第2(適用範囲)

本業務の履行に当たっては、「測量業務共通仕様書(最終改定:平成28年4月1日)」、「設計業務共通仕様書(最終改定:平成28年10月10日)」によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		<p>【測量】 網代学校線 竹ヶ下線 ・4級基準点測量 N=10点 N=3点 ・現地測量 N=1式 N=1式 ・路線測量 L=0.38km L=0.13km</p> <p>【設計】 ・消雪設備詳細設計 N=1式 N=1式</p>
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。
追加				関係官公庁への手続き等		関係官公庁等への手続き状況は以下のとおりである。 なお、これら以外の機関と協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告すること。 ・河川管理者と占用等について未協議である。
追加				地元関係者との交渉等		地元関係者との交渉等に必要な資料(通行止期間に関する案内等)を作成すること。
追加				成果物の提出		成果物は、下記のとおりとする。 ・報告書 2部 ・図面(A3縮小版) 1部 ・電子媒体(CD-ROM 又は DVD-R) 2部
追加				業務カルテ登録方法		受託者は、財団法人日本建設情報総合センターへ、フロッピーディスクの郵送又はインターネットを通じてオンラインで登録することができる。
追加				関連業務		
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				見積等		
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について(平成29年1月31日付第201600158128号県土整備部長通知)」に基づき、受発注者双方でワンデーレスpons、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること。
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、 https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm に掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。
追加				その他		

【測量】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
	1		109	主任技術者	3	(必要に応じ資格要件を記載する。) ・業務経験
	1		110	照査技術者	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。 なお、照査に当たっては、調査・測量・設計業務共通仕様書 (及び別添)中の「測量チェックマニュアル(案)」及び、調査職員 の指示によること。
	1		113		2	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において 行うこととし、1回を予定している。 ——中間—— なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち 会うこと。
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協 議し、速やかに処理すること。

【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1106	管理技術者	3	(必要に応じ資格要件を記載する。) ・業務経験
1	1		1107	照査技術者及び 照査の実施	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。なお、照査に 当たっては、「詳細設計照査要領」及び、調査職員の指示によ ること。
1	1		1110	打合せ等	2	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において 行うこととし、5回を予定している。 ・当初、中間(3回)、成果納品時 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会 うこと。
1	2		1209	設計業務の条件	1	【建設副産物・リサイクル】 鳥取県建設リサイクル指針、県土整備部リサイクル製品使 用基準等に基づき、リサイクル製品、鳥取県認定グリーン商品 等の積極的活用を図ること。 なお、リサイクル計画書の作成に当たり、他工事への搬出可能 量等については調査職員に協議すること。
1	2		1209	設計業務の条件	11	【コスト縮減】 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイク ルコストを考慮し、総合的な評価により工法等を検討すること。 また、必要に応じてコスト縮減関係留意書(平成11年5月 14日管第102号鳥取県土木部長通知)を作成すること。

1	2	1211	設計業務の成果	1 (4)	<p>設計図面、数量計算書は、必要に応じて、暫定、完成計画ごとに取りまとめる。</p> <p>現場進入路が狭く、資材搬入に当たり小型車(2トン積、4トン積)への積替え等が見込まれる場合は、数量計算書の中に「材料集計表(碎石・購入土等)」を追加作成すること。</p> <p>材料集計表を作成する対象資材は、土木工事実施工事例に掲載する「02. 一般資材単価」のうち「(07-1)骨(石)材」と「(07-2)再生碎石」に該当するものである。</p>
追加			特殊な条件		
追加			条件明示チェックシート		
追加			関係機関協議(資料作成)		関係機関との協議資料として、当該施設補修工事の際に必要となる河川占用協議資料を作成すること。
追加			施工計画		
追加			仮設設計		
追加			その他		